

## 150104火葬業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2015	4	8～9	自転車で通勤（出勤）の途中、敷地内に入った所の建物に向かう小道へカーブした時、歩道の縁石に乗り上げそうになってスリップし、バランスを崩して転倒した。	52	2	362	1～9
2	2014	8	12～13	事務室に火葬許可証を取りに行く際、火葬棟から車路を横断していたところ、後方から来た車に2mほど跳ね飛ばされ、そのまま地面に倒れこんだ。この事故で被災者は腰と左肘及び右手首に打撲を負いました。	48	6	231	10～29
3	2014	2	13～14	園内の庭の植木選定作業中に、脚立（約2m）より落下し負傷した。	75	1	371	10～29
4	2013	8	9～10	清掃の洗剤を作る際、スコップに残っていた原液が手に付着し、火傷を負った。	19	12	519	10～29
5	2012	10	18～19	施設内の搬出場で、ダンプに不燃物の積込み作業を行っていた。荷台状況を確認する為、荷台付きのタラップを登っていた際、荷台縁に掛けた手が離れ、バランスを崩し足よりコンクリート床へ落下した。その際、踵を強打し、骨折した。	63	1	371	10～29
6	2012	10	10～11	2階待合室の清掃後、1階ロビーへ移動途中、24段の階段の上部より2～3段で足を滑らせ転倒、踵を骨折。	54	2	413	1～9

7	2011	5	4 ～ 5	清掃作業中、ゴミ捨てをしようとして外に出る時、出入り口のドアに左手を挟まれた。強風の為に急にドアが閉まった。	37	7	719	10 ～ 29
8	2011	4	14 ～ 15	斎場の事務室において、午後2時30分に収骨予定の送迎用マイクロバスが午後2時15分頃に到着したため遺族の方々の入場案内をしたため椅子から立ち上がった瞬間に、右足首が椅子の脚に引っ掛り、そのまま右側の腰から転倒したことにより大腿骨を骨折した。	64	2	379	1 ～ 9
9	2011	2	14 ～ 15	当ホテルで、当日の葬儀予定だった方の遺影写真をセットする為に祭壇に登り、着地する際に必要と判断したイスに体重をかけ転倒した。	25	1	371	1 ～ 9
10	2008	7	8 ～ 9	柩を台車に安置し、縦持ちで位置を直していたところ、両手で柩を持ち上げて上半身だけに力が入ってしまい、腰を負傷した。	51	19	911	1 ～ 9
11	2008	1	13 ～ 14	管理棟の庭木の剪定作業中に脚立に乗り作業をしていたが、片足をかけたところ、枝が折れてしまい、脚立から落ちて負傷した。	59	1	371	10 ～ 29
12	2007	6	11 ～ 12	斎場内で作業中に、突然息苦しくなり、意識がもうろうとして倒れた。	62	11	715	30 ～ 49
13	2007	3	13 ～ 14	当社敷地内の建物軒下において、運転室から控室への移動中、灯油配管をまたいだときに腰をひねり負傷した。	52	19	418	1 ～ 9
14	2006	3	17 ～ 18	会社の駐車場で営業車両（軽ワゴン車高180cm）を洗浄中、天井を洗うため脚立（高さ120cm）に乗り、洗い終え降りようとした時、脚立が水で濡れていたため足がすべり、脚立共々倒れた。倒れた時に後頭部を地面（コンクリート）に強打した。	50	2	371	1 ～ 9

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。